

新刊紹介

イラストでまなぶ

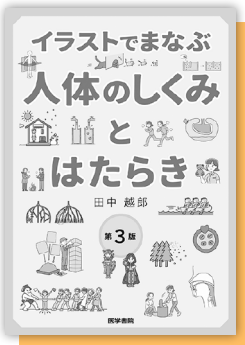
人体のしくみとはたらき 第3版

著：田中越郎

定価：本体2600円＋税／発行：医学書院

TEL：03-3817-5650

人体のしくみとはたらきを気軽に楽しく学べる入門書。イラスト・漫画による比喩やデフォルメを駆使して、臨床につながる知識もしっかり理解できるように解説する。学生はもちろん、臨床で働く医療職からも、「わかる！」と高く評価される内容。第3版はフルカラー化と理解を深める解説動画付きで、さらにパワーアップした。



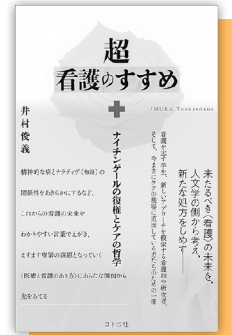
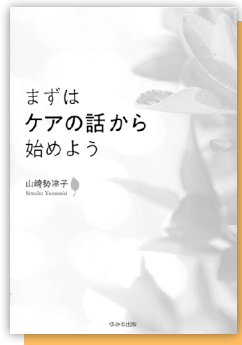
まずはケアの話から始めよう

著：山崎勢津子

定価：本体1500円＋税／発行：ゆみる出版

TEL：03-3352-2313

精神科デイケアの作業療法士である著者が、日々の現場での経験から「ケアとは何か」を思索し、その言語化を試みた意欲作！ ケアとは、自分らしく生きることを支援すること。そのために大切なケアの視点、ケアする人の基本的な姿勢などの観点を、19のエピソードを手がかりに紹介する。

発達障害の人の会話がぐんぐん伸びる
アイスブレイク&ワークショップ

著：冠地情／漫画：かなしろにゃんこ。

定価：本体1500円＋税／発行：講談社

TEL：03-5395-4415

発達障害の当事者が考案した、発達障害の人のためのアイスブレイクとワークショップ。そのやり方と盛り上げるコツを、ADHDの息子をもつ漫画家ママのマンガと図で解説する。ゲーム感覚でコミュニケーション力を高めるアイデアが盛りだくさん。支援機関、特別支援学校、当事者会など、発達障害の人とかかわる人たち必携の1冊。

超看護のすすめ

ナイチンゲールの復権とケアの哲学

著：井村俊義

定価：本体2400円＋税／発行：コトニ社

TEL：090-7518-8826

著者は、所属する看護大学の教員、学生との交流、自身の母の看護の経験などをベースに、文化人類学、民俗学、文学、哲学とナイチンゲールの思想を駆使して、「看護とは何か」「生きることと死ぬことの意味」について思考を続ける。そのうえで、患者と看護者の間に新たな関係を築く、これからの看護のあり方「超看護」を提示する。